

電波時計(掛時計)取扱説明書

～製品の特長～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- ソーラー発電との併用で電池長持ち
- 暗くなると秒針が停止します

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 リズム時計工業株式会社

本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 ■お客様相談室 フリーダイヤル 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせの際は、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4MY〇〇〇

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路等)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛け費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1104)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



してはいけない「禁止」内容です。



「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について



小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。



■使用場所について



下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

●温度が+50°C以上になる所。たとえば、長時間直射日光のある所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。

●温度が-10°C以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。

●浴室など湿気が多い所。

●ほこりが多く発生する所。

●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●温泉場など、ガスの発生する所。

●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意(電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

●プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。

●古い電池と新しい電池を混ぜない。

●種類の異なる電池を混ぜない。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●時計が止まつたらすぐに電池を取り外す。

●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

●電池を新しくするときは、全部取り替える。

●幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

この時計は、長期間電池を使用しますので、必ず指定のアルカリ乾電池を使用してください。指定以外の電池では、製品仕様より短い期間で電池の交換が必要になったり、電池からの液もれが発生するおそれがあります。

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

●電池に傷をつけない。 ●分解しない。 ●電池をショートさせない。

●電池を充電しない。 ●時計が止まつたらすぐに電池を取り外す。

●加熱したり、火の中に入れたりしない。

液もれが起きましたとき

電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。

ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入っていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。

●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。

●電池を取り外してください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報を得るために、情報通信研究機構が運用している電波です。

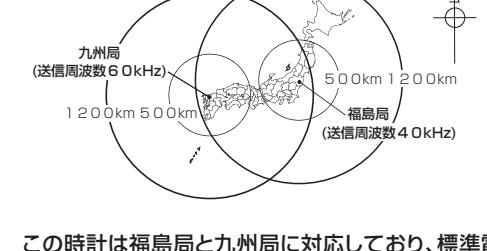
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、位置、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

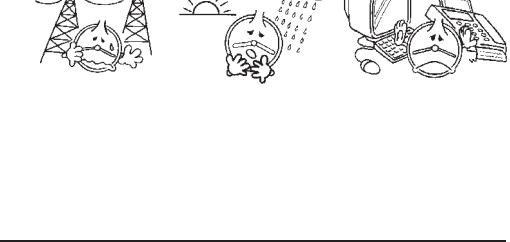


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することができます。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブライントの近く
- ビルの地下など
- 高压線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるとときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電源について ソーラー発電と電池

この時計は、電池とソーラー発電で駆動します。ソーラー発電は、電池の消耗を補い、電池の寿命を最長で約5年に延ばします。

○ご使用になるときには、必ず電池をセットしてください。

○ソーラー発電をしても蓄電しません。

■ソーラー発電(光を電気に変える)

▶設置場所の条件

明るさの目安として、時計正面で200ルクス以上の照度で、1日当たり8時間以上発電ができる場所。たとえば、リビングルームなど日中外光があり、夜も照明時間が長い所が望ましいです。

○ベッドルームなど、ソーラー発電が十分にできない所でも、乾電池により駆動しますので、ご使用いただけます。

○ソーラー発電が十分に行えない所では、乾電池の交換時期が早くなります。

▶明るさの簡易的な確認方法

①電池を入れてから約16分経過後に電池を抜く。

②秒針が1秒ステップで動き続ければ、発電できる明るさです。

③確認後は、必ず電池入れてください。

※照度とは

照らされた場所の明るさのことを照度と呼び、単位はルクス(Lx)です。

※時計に直射日光を当てないでください。ソーラーセルの発電効率が低下したり、外装部材の変色や劣化を招きます。



日中、外光が入り夜間も照明がさられるリビングなど



つり下げ型照明で光が十分に当たらない

※時計前面を照明しても、明るさや受光時間が不足すると十分な発電ができません。

おもな製品仕様

時 間 精 度 ●標準電波受信成功直後の表示精度

秒針 土1秒以内 時針／分針 目盛りに対して±3度

●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒以内(常温中のクオーツ精度)

使 用 温 度 範 囲 -10～+50°C *結露しないこと

ソーラー発電 アモルファス ソーラーセル 室内用

使 用 電 池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個

電 池 寿 命 1日当たり200Lx以上で8時間光発電した場合約5年

図は操作説明用ですので、実際と異なることがあります。

(正面)

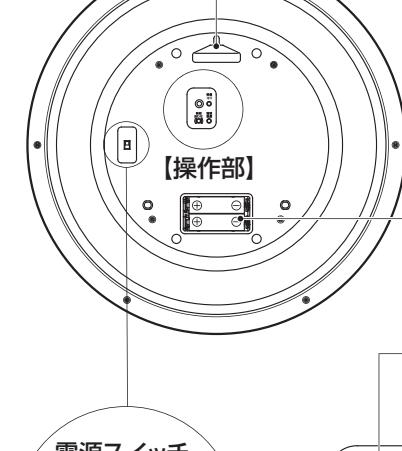


時針（短い針）
分針（長い針）
ソーラーセル
秒針

通常の針の動き
時針・分針：10秒に1回動きます。
秒針：1秒ステップで動きます。
※自動受信で時刻を修正するときは、早送りで回ったり、停止することがあります。

明暗センサー（明暗センサーのはたらき）参照

（裏面）



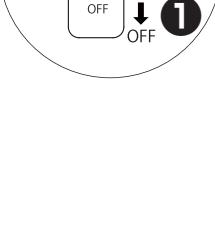
ここに電池を入れる
② 電池ホルダーの $\oplus\ominus$ 表示に合わせて、電池を入れる。
電池の $\oplus\ominus$ を逆向きに入れると、電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。
単3形アルカリ乾電池 2個
※電池を入れないと正常に機能しません。

受信表示ランプ
受信確認ボタン ⑥
受信結果を受信表示ランプで表示します。
（電波の流れと受信表示ランプの見方）参照。

強制受信ボタン ④
電波の受信を開始します。電源を入れた直後または設置場所を変えた場合などに押します。

時刻合わせボタン
手動で時刻合わせを行うときに使用します。
不用意に押すと時刻が変わることがあります。
（手動での時刻合わせ）参照。

【操作部詳細】



明暗センサーのはたらき……………暗くなると眠る秒針

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。
昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

電池の交換時期お知らせ機能……………秒針が停止

電池の交換時期になると、秒針が明るいところでも12時位置に停止したままになります。
そのまま放置すると電池からの液もれや誤作動の原因になりますので、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

●交換時期になると標準電波の受信を行いません。

●時針と分針は交換時期になってから約1ヵ月動きます。

◆電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池を長期間使い続けると、電池からの液もれが発生しやすくなります。
電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

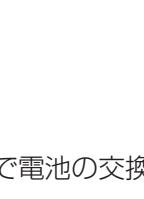
●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、
電池を取り出す。
●時計が動いていても5年に1回定期的に交換する。

▶交換用の電池について

①同じ使用推奨期限の単3形アルカリ乾電池を2個用意してください。
電池に「使用推奨期限」が月一年の順に表示されていますので、目安として交換日より4年以上先のものをご使用ください。

例：2015年3月に交換するときは、03-2019より先の表示があるもの。

②同一の電池メーカーで同一種類のアルカリ乾電池。
③未使用の電池。



使用推奨期限の表示例



液もれだ！

④ソーラー発電ができる環境で何年動きますか

電池のみでは約2年間です。

付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、2年に満たないで電池の交換が必要になることがあります。

電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える

ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように設置し、強制受信ボタンを押して受信を開始してください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

電波を受信できないときや意図的に時刻を変えたい場合は、手動で時刻を合わせることができます。

手動での時刻合わせ……………受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

（電波受信機能のON/OFF操作）参照。

時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

○時刻合わせボタンを押し続けると秒針は12時位置に停止します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離したときに、ゼロ秒に設定されます。

秒針が12時位置に止まっているときは、早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

使用方法

標準電波を利用しないで、時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

①電源スイッチをOFFにする

②電池ホルダーの $\oplus\ominus$ 表示に合わせて電池を入れる

③電源スイッチをONにする

④強制受信ボタンを押す…… 受信の流れと受信表示ランプの見かた

受信表示ランプが点灯して、針が12時、4時、8時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

※受信が終わるまでボタン操作をしないでください。

⑤**時計の掛けかた** に従い、時計を確実に掛ける

⑥受信開始から16分後に受信結果を確認する

受信確認ボタンを押してすぐに離すと、受信表示ランプが受信結果をお知らせします。

5秒間点灯：受信成功（正しい時刻）

5回点滅：受信失敗（不正確な時刻）→**電波を受信できない場合**へ

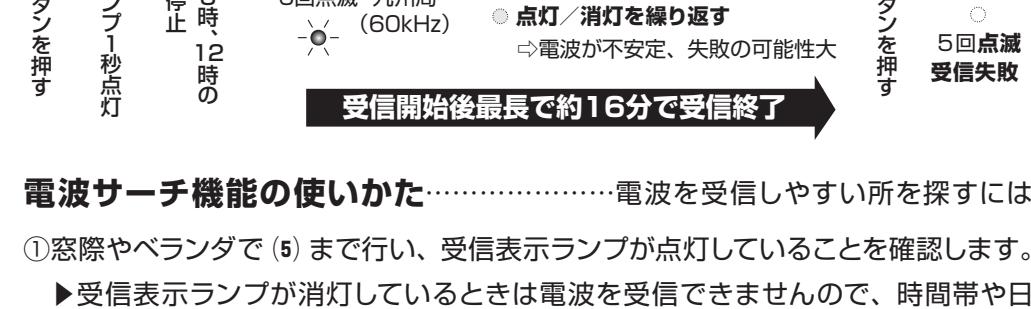
2回点滅：受信機能がOFF

消灯したまま：受信中

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて④からやり直してください。

○受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

受信の流れと受信表示ランプの見かた



電波サーチ機能の使いかた……………電波を受信しやすい所を探すには

①窓際やベランダで⑤まで行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。

▶受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。

②時計を掛けたい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。

※同じ部屋の中でも、電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

時計の掛けかた

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじや取付金具）がしっかりと掛かっていることを確認してください。

強制 ○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。

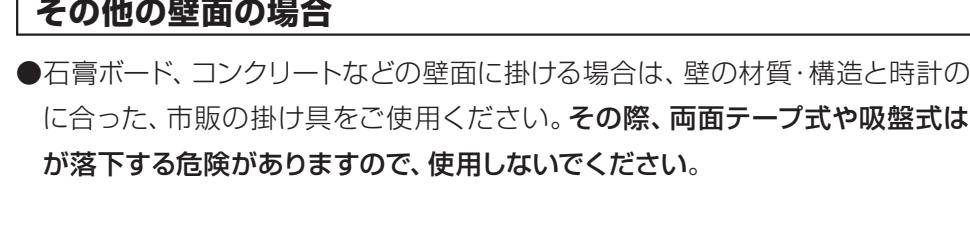
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかりと掛かるものを選んでください。

注意 ○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面にかける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落する危険がありますので、使用しないでください。

電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすい所や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクオーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（受信機能を無効にするには）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

強制受信 強制受信 強制受信 強制受信 強制受信 強制受信 強制受信 強制受信

押す 点灯 押す 点灯 押す 点灯 押す 消灯

（受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください）

※電波受信機能がOFFのときには強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止またりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（有効にして受信を開始するには）

工場を出荷するときには電波受信機能はON（有効）になっています。

OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後に必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

強制受信 強制受信 強制受信 強制受信 強制受信 強制受信
押す 押してすぐ離す 離す 押す 押してすぐ離す 離す

（強制受信ボタンを押すと受信を開始）

ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※電池を取り出しても設定を長期間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しないことがあります。このようなときには、強制受信ボタンをしてください。